

## 「沖縄の家」構想の概要

「沖縄・国際物流拠点形成研究会」が2016年11月、沖縄の将来像を示す『沖縄の国際物流拠点形成をめざす提言』を取りまとめ発表しました。

その中で那覇港に次ぐ沖縄の第2の港である中城湾港と鹿児島県志布志港との定期航路の利用の拡充が課題として挙げられています。

「沖縄の家」とは、この定期航路を利用して、

- ① 南九州から木材を沖縄に移入し、
- ② 沖縄で亜熱帯気候に適し、台風・シロアリにも強い本格的な木造住宅を造り、
- ③ 県内に普及させるとともに、木造住宅を九州など本土へ移出し、東アジア各国にも輸出する—という構想です。



木材を移入



沖縄で亜熱帯気候に適し、台風・シロアリにも強い本格木造住宅を造る。

木造住宅を東アジア各国に輸出

